

当社は、昨今の医薬品業界において、主力製品の人工腎臓用透析剤キンドリーなど人工透析関連製商品および輸液などのより強固な浸透を図るとともに、後発医薬品の販売促進にも注力しております。

その中で、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢などの様々な要因から、医薬品の安定供給が強く要請されている状況に対して、社会から信頼される企業でありつづけるため、安定供給や品質確保に一層留意してまいります。

また、人工腎臓用透析剤の安定供給や環境配慮目的の燃料転換により、新たな付加価値の創出と脱炭素取組を通じた環境への負荷低減を両立させていきます。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2024年1月～2025年3月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

茨城工場の炭素生産性を、14.35%向上させる。

3. 前向きな取組の内容

計画初年度に、茨城工場にて、薬剤製造ラインを増設。生産能力を向上させることで、付加価値額の増加を図る。また、ボイラーの燃料転換によるCO2排出量削減効果を織り込み、炭素生産性を向上させる。

2年度目（目標年度）は、上記取組を通期稼働することにより、茨城工場の炭素生産性を14.35%向上させる。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<茨城工場全景および薬剤イメージ写真>



<茨城工場内部>

